

平成 29 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジアⅢ講座・准教授
氏名 Name	長崎広子
専門分野 Academic Field	中世ヒンディー文学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	バクティ文学研究と詩論書の研究
<p>作詩法時代の詩人 Sukhdev Mishra のヒンディー詩論書 Pingala の 2 写本の書き起こし作業を行った。また、校訂作業とその英訳をすすめた。</p> <p>用いられている専門用語を抜き出し、詩論書での意味を特定し、用語集を作成した。</p> <p>インドでの現地調査で、パートナーの Bihar Rashtra Bhasha Parishad とベナレスの Nagari Pracarini Sabha で Sukhdev Mishra の写本を調査した。Bihar Rashtra Bhasha Parishad にはカタログに記載された写本は発見できなかったが、Nagari Pracarini Sabha では同一系統と思われる写本が見つかった。</p> <p>ブルガリアの Bansko で開催されたブラジ・バーシャーの研究会に参加し、これまでの成果で得られた Sukhdev Mishra 著 Pingala のテキスト講読を担当し、解説した。</p> <p>学術雑誌『印度民俗研究』第 17 号で、論文「ムガル皇帝アクバルとふたりのスールダースー聖者伝文学の記述をとおしてー」を発表した。また、同雑誌の編集作業を行い刊行した。</p> <p>成果公開用サーバーを更新し、中世ヒンディー文学作品の電子テキスト化を引き続き行った。</p> <p>北京大学で開催された学会（東アジアにおけるヒンディー語研究）で、大阪大学におけるヒンディー語教育の歴史と日本のヒンディー語研究について口頭発表した。</p> <p>論文”Duality in the Language and Literary Style of Raskhan’s Poetry” が掲載された Text and Tradition in Early Modern North India が OUP India から出版された。</p> <p>論文「ヒンディー詩における音韻的リズム」が『南アジア言語文化』第 9 号に掲載された。</p>	